



認証番号 0010706

作成日 2019年6月21日
改訂日 2019年8月27日

2018年度版

エコアクション21 環境活動レポート

(レポート対象期間2018年4月～2019年3月)



 **プライムデリカ**

目次

1.組織概要	1
2.対象範囲	2
3.環境方針	4
4.環境目標	5
5.環境活動計画	9
6.環境目標の実績	10
7.環境活動計画の取り組み結果 とその評価、次年度の取組内容	15
8.環境関連法規等の遵守状況の 確認及び評価の結果	16
9.代表者による全体評価 と見直し結果	18
10.環境活動の取組事例	18

組織概要

●事業所名及び代表者名

プライムデリカ株式会社
代表取締役 齊藤 正義

●所在地

事業所名	所在地
本社・相模原第一	〒252-0328 神奈川県相模原市南区麻溝台一丁目7番1号
相模原第二	〒252-0336 神奈川県相模原市南区当麻2575番1
龍ヶ崎	〒301-0852 茨城県龍ヶ崎市向陽台5-6-3
豊田第一	〒470-0334 愛知県豊田市花本町井前1番地23
豊田第二	〒470-0361 愛知県豊田市猿投町野入44-53
枚方	〒573-0101 大阪府枚方市長尾峠町15-1
宝塚	〒665-0051 兵庫県宝塚市高司 4丁目6番40号
新居浜	〒792-0852 愛媛県新居浜市東田二丁目乙1番2
宗像	〒811-3201 福岡県福津市八並268-1
佐賀	〒849-0902 佐賀県佐賀市久保泉町大字上泉
宮崎	〒880-0303 宮崎県宮崎市佐土原町東上那珂

●環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

- ・統括環境管理責任者 取締役生産本部長兼環境部長 加藤 幸作
- ・担当者 統括事務局 TEL:042-702-0011 FAX:042-702-2611
<http://www.primedelica.com/index.html>

●事業活動の内容について

コンビニエンスストア向けの軽食・総菜・デザート・調理パンの製造及び
関連新商品の開発

●事業規模

創業 1986年10月1日 資本金 1億円

事業所名	売上高 (百万円)	従業員数 (名)	延床面積 (m ²)
全社	96,393.03	8703 名(うち社員 609 名)	110,307.96
本社・相模原第一	9,943.08	1027 名(うち社員 117 名)	10,678.43
相模原第二	10,475.97	768 名(うち社員 51 名)	20,851.17
龍ヶ崎	8,787.72	819 名(うち社員 45 名)	10,342.71
豊田第一	10,133.97	886 名(うち社員 54 名)	9,163.17
豊田第二	10,058.21	706 名(うち社員 46 名)	10,566.03
枚方	9,449.23	991 名(うち社員 50 名)	5,841.37
宝塚	10,646.86	1072 名(うち社員 50 名)	8,067.81
新居浜	4,894.30	362 名(うち社員 52 名)	11,067.76
宗像	8,990.80	884 名(うち社員 54 名)	8,732.02
佐賀	9,027.69	743 名(うち社員 56 名)	8,960.22
宮崎	3,985.19	445 名(うち社員 34 名)	6,037.27

(2019年3月31日時点)

対象範囲

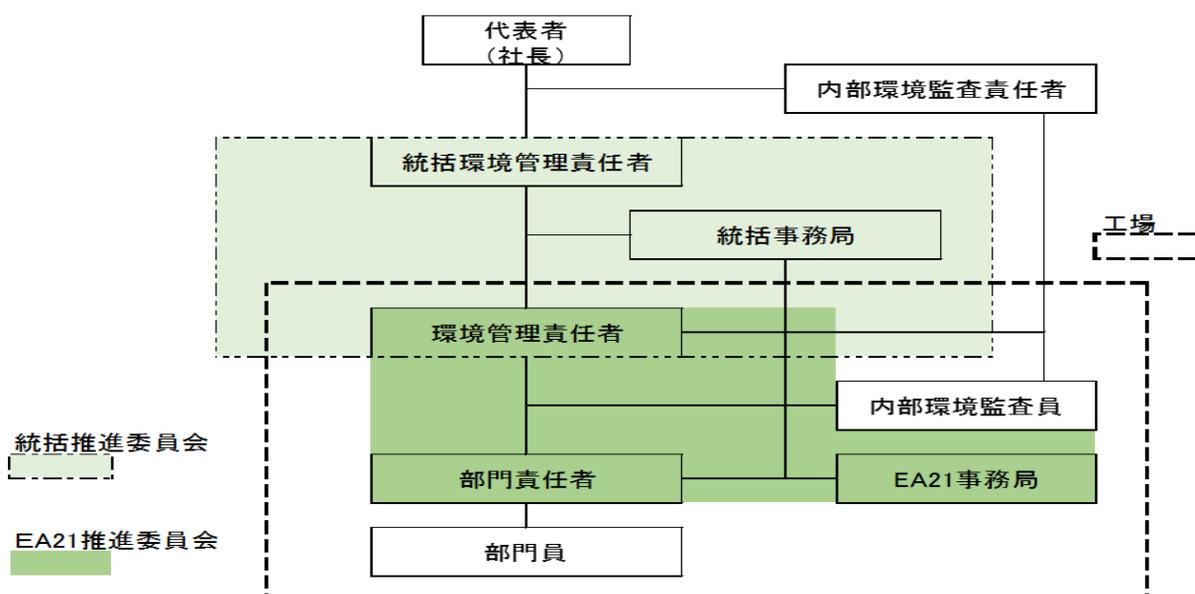
本社・相模原第一、相模原第二、龍ヶ崎、
豊田第一、豊田第二、枚方、宝塚、新居浜、
宗像、佐賀、宮崎

2017年度実績を基準とし、2018年4月から2019年3月までの1年間取り組みを行いました。

<プライムデリカネットワーク>



<組織図>



対象範囲

<役割と権限>

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営方針の策定 2. 統括環境管理責任者の任命、環境保全活動の取り組みに関する責任及び権限の付与 3. 内部環境監査責任者の任命、環境マネジメントマニュアルの運用確認と指導権限の付与 4. 環境マネジメントシステムの実施に必要な資源(人材、資金、技術、インフラストラクチャー、情報等)の提供 5. 代表者による全体の見直しと評価を行う 6. 各自の役割、責任及び権限を定め、全従業員に周知する
統括環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. エコアクション21の要求事項に適合した環境マネジメントシステムを確立、実施、維持、管理 2. EA21統括事務局を任命、事務局責任者として運営 3. 統括推進委員会を主催する 4. 環境関連文書の承認をする 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、順守の徹底 6. 環境マネジメントシステムの運営状況及び実績に関して、社長に報告 7. 環境管理責任者の任命
統括推進委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境マネジメントシステムの運用状況の進捗を確認する 2. 統括推進委員会は、統括環境管理責任者を委員長する 3. 構成員を環境管理責任者と統括事務局とする
統括事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. 統括環境管理責任者の補佐、及び全社の実行業務の支援を行う 2. 環境マネジメントマニュアル及び環境経営レポート、全社共通の規程、全社環境経営目標、その他文書を作成 3. 全社に関わるその他文書を作成する 4. 全社環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成及び順守評価を実施 5. 環境関連文書及び記録の整備及び保管
内部環境監査責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境マネジメントシステムが適切に実施され、維持されているかを検証するため、内部環境監査を定期的実施するよう指示する 2. 内部環境監査の結果を社長及び環境管理責任者に報告する 3. 監査終了後、良かった点などの水平展開を指示する
内部環境監査員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 内部環境監査員養成研修合格者またはISOの内部監査員資格保持者から内部環境監査責任者より任命される 2. 監査結果が『適合』『改善』『軽微な不適合』『不適合』かを評価し、評価した結果を報告書にまとめ、是正処置を依頼する 3. 良し悪しだけでなくマニュアルそのものを審査し、責任の所在(どこ、誰、解決方法)の確認を行う
工場長 (環境管理責任者)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 工場環境管理の責任者として統括する 2. EA21推進委員会の委員長を兼務する 3. EA21事務局、EA21推進委員を任命する 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. EA21事務局の責任者として事務局運営 6. 事業所の環境関連文書の承認をする 7. 環境関連ご指摘の周知における開示権限を持ち、開示することができる
EA21推進委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業所の環境マネジメントシステムの運用状況の進捗確認 2. 委員長を工場長《環境管理責任者》とする 3. 構成員を部門責任者と事務局とする 4. 開催日 3か月に1回(5.8.11.2月)、開催する 5. 環境経営計画実施状況の評価 (四半期ごとに評価を行い、事務局が環境経営計画に記載する) 6. 事務局が議事録作成
EA21事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく順守評価の実施 6. 特定された緊急事態への対応のための手順書作成、記録の作成 7. 工場環境関連文書及び記録の整備、保管
部門責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA21推進委員とする 2. 自部門における環境経営方針の周知、従業員に対する教育、訓練の実施 3. 自部門に関連する環境経営計画の作成及び実施、達成状況を報告 4. 特定された自部門の緊急事態の手順書作成及びテスト、訓練を実施 5. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 6. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営方針を理解し、部門の環境経営計画に従って活動する

環境方針

プライムデリカ環境経営方針

【基本方針】

プライムデリカは、「私達は、お客様に信頼される誠実な企業でありたい」という基本理念のもとに事業展開しています。

食品企業である私たちは、製品原材料の多くを大地と自然の恩恵から享受しており、その豊かな自然環境を次世代へ継承する責任があります。

地球環境保全は経営の最重要課題のひとつであると認識し、持続可能な社会の実現に向け、以下の行動指針に基づき、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境経営の継続的改善を実施します。

【行動指針】

1. 環境負荷の低減

・事業活動において、省エネルギー・省資源化・食品残渣の発生抑制及びその他廃棄物の削減等、環境負荷の低減に努めます。さらに、太陽光発電等の自然エネルギーの利用に積極的に取り組みます。

2. 循環型社会の形成

・環境に配慮した機械設備、備品の購入を推進します。また、事業活動に係るライフサイクルで、環境に配慮した調達、水・熱の再利用化、食品残渣及びその他廃棄物のリサイクルに努め、循環型社会の形成に貢献します。

3. 法規制順守

・環境関連法規制等の要求事項を順守するとともに、環境リスクの未然防止に努めます。

4. 地域との共生

・環境保全活動に積極的に参加し、地域社会への貢献とコミュニケーションを図ります。

5. 社外公表・周知

・環境情報を広く適切に開示し、全従業員に対し周知徹底するとともに、社外にも公開します。

プライムデリカ株式会社

代表取締役

齊藤 正義

制定日 2014年 11月 29日

最終改定 2019年 4月 1日

 プライムデリカ

環境目標

電力排出係数について

環境目標を設定するに当たり、平成30年度購入電力のCO₂実排出係数は国が公表する電気事業者毎の数値より平成26年度実績(平成27年度公表)のものを使用しました。

【単位:kg-CO ₂ /kWh】		
事業所	電力会社	2016年度
		実排出係数
本社・相模原第一工場・相模原第二工場・龍ヶ崎工場	東京電力(株)	0.505
豊田第一工場・豊田第二工場	中部電力(株)	0.497
枚方工場、宝塚工場	関西電力(株)	0.531
新居浜工場	四国電力(株)	0.676
宗像工場、佐賀工場、宮崎工場	九州電力(株)	0.584

自然エネルギーの利用について

環境方針に記載した自然エネルギーの利用として、太陽光発電を相模原第二工場、龍ヶ崎工場、豊田第二工場、新居浜工場および宮崎工場にて取り入れております。

原単位について

当社では原単位を算出するにあたり、生産量(千pk)を使用しています。

CO₂の排出係数について

環境負荷の状況を把握するに当たり、排出量と排出係数は環境省公表のホームページのフォーマットの数値を使用しました。
また、蒸気については省エネ法の二酸化酸素係数を使用しました。

【単位:kg-CO ₂ /MJ】		
	排出係数	単位発熱量
灯油	0.0679	36.7
重油	0.0693	39.1
都市ガス	0.0513	41.1
液化石油ガス	0.0598	50.2
ガソリン	0.0671	34.6
軽油	0.0687	38.2
熱供給(蒸気)	-	60
熱供給(冷水)	-	57

環境目標

二酸化炭素排出量削減

総量:Kg-CO₂、原単位:Kg-CO₂/千pk

	基準(2017年度実績)		目標(2018年度)		目標(2019年度)		目標(2020年度)	
	総量	原単位	原単位	前年度比	原単位	前年度比	原単位	前年度比
全社	68,505,269	118.7	117.7	1%削減	116.5	1%削減	115.4	1%削減
相模原第一	8,119,072	114.1	113.0	1%削減	111.8	1%削減	110.7	1%削減
相模原第二	12,684,949	289.7	286.8	1%削減	283.9	1%削減	281.1	1%削減
龍ヶ崎	4,759,937	84.8	83.9	1%削減	83.1	1%削減	82.2	1%削減
豊田第一	7,371,404	141.6	140.1	1%削減	138.7	1%削減	137.4	1%削減
豊田第二	4,945,020	75.1	74.4	1%削減	73.6	1%削減	72.9	1%削減
枚方	4,589,974	91.3	90.4	1%削減	89.5	1%削減	88.6	1%削減
宝塚	6,116,581	96.9	95.9	1%削減	94.9	1%削減	94.0	1%削減
新居浜	4,954,571	194.7	192.8	1%削減	190.9	1%削減	189.0	1%削減
宗像	4,681,698	91.3	90.4	1%削減	89.4	1%削減	88.6	1%削減
佐賀	6,661,064	91.1	90.2	1%削減	89.3	1%削減	88.4	1%削減
宮崎	3,620,998	146.5	145.0	1%削減	143.5	1%削減	142.1	1%削減

電気使用量削減

総量:kWh、原単位:kWh/千pk

	基準(2017年度実績)		目標(2018年度)		目標(2019年度)		目標(2020年度)	
	総量	原単位	原単位	前年度比	原単位	前年度比	原単位	前年度比
全社	77,787,985	134.8	133.5	1%削減	132.1	1%削減	130.8	1%削減
相模原第一	7,826,444	110.0	108.9	1%削減	107.8	1%削減	106.7	1%削減
相模原第二	12,838,731	293.2	290.3	1%削減	287.4	1%削減	284.5	1%削減
龍ヶ崎	3,579,001	63.7	63.1	1%削減	62.5	1%削減	61.8	1%削減
豊田第一	9,107,302	174.9	173.1	1%削減	171.4	1%削減	169.7	1%削減
豊田第二	7,239,970	110.0	108.9	1%削減	107.8	1%削減	106.8	1%削減
枚方	5,868,200	116.8	115.6	1%削減	114.5	1%削減	113.3	1%削減
宝塚	7,872,206	124.7	123.4	1%削減	122.2	1%削減	121.0	1%削減
新居浜	6,153,908	241.9	239.5	1%削減	237.1	1%削減	234.7	1%削減
宗像	5,252,994	102.4	101.4	1%削減	100.4	1%削減	99.4	1%削減
佐賀	7,861,264	107.5	106.4	1%削減	105.4	1%削減	104.3	1%削減
宮崎	4,187,964	169.4	167.7	1%削減	166.0	1%削減	164.4	1%削減

ガス使用量削減

総量:kl、原単位:l/千pk

	基準(2017年度実績)		目標(2018年度)		目標(2019年度)		目標(2020年度)	
	総量	原単位	原単位	前年度比	原単位	前年度比	原単位	前年度比
全社	12,669	22.1	21.9	1%削減	21.7	1%削減	21.4	1%削減
相模原第一	2,044	31.4	31.1	1%削減	30.8	1%削減	30.5	1%削減
相模原第二	2,924	39.6	39.2	1%削減	38.8	1%削減	38.4	1%削減
龍ヶ崎	1,418	27.7	27.4	1%削減	27.1	1%削減	26.8	1%削減
豊田第一	1,397	30.1	29.8	1%削減	29.5	1%削減	29.2	1%削減
豊田第二	693	11.7	11.6	1%削減	11.5	1%削減	11.4	1%削減
枚方	711	15.5	15.3	1%削減	15.2	1%削減	15.0	1%削減
宝塚	948	16.4	16.3	1%削減	16.1	1%削減	15.9	1%削減
新居浜	323	25.7	25.4	1%削減	25.1	1%削減	24.9	1%削減
宗像	721	15.5	15.3	1%削減	15.1	1%削減	15.0	1%削減
佐賀	1,003	15.4	15.3	1%削減	15.1	1%削減	15.0	1%削減
宮崎	487	21.0	20.8	1%削減	20.6	1%削減	20.3	1%削減

環境目標

食品廃棄物排出量削減

総量:kg、原単位:kg/千pk

	基準(2017年度実績)		目標(2018年度)		目標(2019年度)		目標(2020年度)	
	総量	原単位	原単位	前年度比	原単位	前年度比	原単位	前年度比
全社	18,746,404	32.5	32.2	1%削減	31.8	1%削減	31.5	1%削減
相模原第一	2,722,970	38.3	37.9	1%削減	37.5	1%削減	37.1	1%削減
相模原第二	2,748,947	62.8	62.2	1%削減	61.5	1%削減	60.9	1%削減
龍ヶ崎	1,385,290	24.7	24.4	1%削減	24.2	1%削減	23.9	1%削減
豊田第一	2,548,602	48.9	48.5	1%削減	48.0	1%削減	47.5	1%削減
豊田第二	1,477,938	22.5	22.2	1%削減	22.0	1%削減	21.8	1%削減
枚方	1,868,095	37.2	36.8	1%削減	36.4	1%削減	36.1	1%削減
宝塚	2,068,891	32.8	32.4	1%削減	32.1	1%削減	31.8	1%削減
新居浜	842,460	33.1	32.8	1%削減	32.5	1%削減	32.1	1%削減
宗像	1,744,450	34.0	33.7	1%削減	33.3	1%削減	33.0	1%削減
佐賀	1,119,900	15.3	15.2	1%削減	15.0	1%削減	14.9	1%削減
宮崎	218,861	8.9	8.8	1%削減	8.7	1%削減	8.6	1%削減

その他産業廃棄物排出量削減

総量:kg、原単位:kg/千pk

	基準(2017年度実績)		目標(2018年度)		目標(2019年度)		目標(2020年度)	
	総量	原単位	原単位	前年度比	原単位	前年度比	原単位	前年度比
全社	7,718,027	13.4	13.2	1%削減	13.1	1%削減	13.0	1%削減
相模原第一	537,836	7.6	7.5	1%削減	7.4	1%削減	7.3	1%削減
相模原第二	747,040	17.1	16.9	1%削減	16.7	1%削減	16.6	1%削減
龍ヶ崎	478,790	8.5	8.4	1%削減	8.4	1%削減	8.3	1%削減
豊田第一	651,800	12.5	12.4	1%削減	12.3	1%削減	12.1	1%削減
豊田第二	1,141,170	17.3	17.2	1%削減	17.0	1%削減	16.8	1%削減
枚方	874,370	17.4	17.2	1%削減	17.1	1%削減	16.9	1%削減
宝塚	521,239	8.3	8.2	1%削減	8.1	1%削減	8.0	1%削減
新居浜	254,962	10.0	9.9	1%削減	9.8	1%削減	9.7	1%削減
宗像	945,720	18.4	18.3	1%削減	18.1	1%削減	17.9	1%削減
佐賀	881,780	12.1	11.9	1%削減	11.8	1%削減	11.7	1%削減
宮崎	683,320	27.6	27.4	1%削減	27.1	1%削減	26.8	1%削減

排水量の削減

総量:m3、原単位:m3/千pk

	基準(2017年度実績)		目標(2018年度)		目標(2019年度)		目標(2020年度)	
	総量	原単位	原単位	前年度比	原単位	前年度比	原単位	前年度比
全社	1,674,660	2.9	2.9	1%削減	2.8	1%削減	2.8	1%削減
相模原第一	265,184	3.7	3.7	1%削減	3.7	1%削減	3.6	1%削減
相模原第二	218,523	5.0	4.9	1%削減	4.9	1%削減	4.8	1%削減
龍ヶ崎	139,559	2.5	2.5	1%削減	2.4	1%削減	2.4	1%削減
豊田第一	251,168	4.8	4.8	1%削減	4.7	1%削減	4.7	1%削減
豊田第二	94,842	1.4	1.4	1%削減	1.4	1%削減	1.4	1%削減
枚方	168,434	3.4	3.3	1%削減	3.3	1%削減	3.3	1%削減
宝塚	154,774	2.5	2.4	1%削減	2.4	1%削減	2.4	1%削減
新居浜	71,717	2.8	2.8	1%削減	2.8	1%削減	2.7	1%削減
宗像	114,054	2.2	2.2	1%削減	2.2	1%削減	2.2	1%削減
佐賀	110,175	1.5	1.5	1%削減	1.5	1%削減	1.5	1%削減
宮崎	86,230	3.5	3.5	1%削減	3.4	1%削減	3.4	1%削減

環境目標

食品リサイクル率の向上

	2017年度 実績	2018年度 目標	2019年度 目標	2020年度 目標
全社	89.9%	85.0%	95.0%	95.0%
相模原第一	89.6%	85.0%	95.0%	95.0%
相模原第二	63.4%	63.5%	95.0%	95.0%
龍ヶ崎	91.3%	85.0%	95.0%	95.0%
豊田第一	100.0%	100.0%	95.0%	95.0%
豊田第二	100.0%	100.0%	95.0%	95.0%
枚方	100.0%	85.0%	95.0%	95.0%
宝塚	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
新居浜	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
宗像	73.3%	85.0%	95.0%	95.0%
佐賀	78.6%	85.0%	95.0%	95.0%
宮崎	100.0%	85.0%	100.0%	100.0%

g/pk	平成19年度の 基準原単位
全社	25.8
相模原第一	20.3
相模原第二	20.0
龍ヶ崎	24.5
豊田第一	27.0
豊田第二	23.1
枚方	27.3
宝塚	28.4
新居浜	34.2
宗像	29.1
佐賀	25.8
宮崎	20.5

グリーン購入の推進

	2017年度 実績	2018年度 目標	2019年度 目標	2020年度 目標
全社	実績把握	継続実施	継続実施	継続実施
相模原第一	20点切替	1点追加	2点追加	3点追加
相模原第二	実績なし	実績の把握	1点追加	1点追加
龍ヶ崎	1点	年間1件以上	1点追加	1点追加
豊田第一	実績把握	1点追加	2点追加	3点追加
豊田第二	1点以上拡大	1点以上拡大	1点以上拡大	1点以上拡大
枚方	2件/月	1点追加	2点追加	3点追加
宝塚	3件	0件→1件追加	5件	6件
新居浜	12点	1点追加	13点	14点
宗像	5点	5件→7件	8点	9点
佐賀	6件	10件以上	10件	10件
宮崎	20件	年1点以上追加	年1点以上追加	年1点以上追加

環境改善活動&地域貢献活動

環境改善活動	2017年度 実績	2018年度 目標	2019年度 目標	2020年度 目標
全社	-	継続実施	継続実施	継続実施
相模原第一	5件	5件以上	5件以上	5件以上
相模原第二	実績なし	1件/月	1件/月	1件/月
龍ヶ崎	3件	2件/年	2件/年	2件/年
豊田第一	改善実施	改善実施	改善実施	改善実施
豊田第二	7件	8件以上	9件以上	10件以上
枚方	3件/月	1点追加	2点追加	3点追加
宝塚	5件	6件	7件	8件
新居浜	改善活動	改善活動	改善活動	改善活動
宗像	2件	2件	2件	2件
佐賀	9件	10件以上	10件以上	10件以上
宮崎	実績なし	実績把握	10件以上	10件以上

地域貢献活動	2017年度 実績	2018年度 目標	2019年度 目標	2020年度 目標
全社	-	継続実施	継続実施	継続実施
相模原第一	12件	12件	12件	12件
相模原第二	実績なし	1件/月	1件/月	1件/月
龍ヶ崎	4件	4件	4件	4件
豊田第一	4件	4件以上	4件以上	4件以上
豊田第二	4件	4件以上	4件以上	4件以上
枚方	4件/3ヶ月	1点追加	2点追加	3点追加
宝塚	6件	8件	10件	12件
新居浜	実績なし	活動実施	活動実施	活動実施
宗像	3件	3件	3件	3件
佐賀	3件	5件以上	8件以上	10件以上
宮崎	3件	3件以上	3件以上	3件以上

環境活動計画

エコアクション21の認証取得した本社・相模原第一工場、相模原第二工場、龍ヶ崎工場・豊田第一工場、豊田第二工場、枚方工場、宝塚工場、新居浜工場、宗像工場、佐賀工場、宮崎工場で環境活動に取り組みました。各工場では本来業務の改善活動を継続的に実施しており、本業を通じての改善に努めてまいります。

二酸化炭素の排出量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・電力の削減 ・化石使用量の削減 ・低公害車・低燃費車の継続活用 ・不良率の低減 ・省エネルギー委員会の定期開催 ・省エネパトロールの実施 ・自然エネルギー(太陽光発電)の活用 	食品廃棄物の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・保管庫の整理整頓 ・マニュアル通りの工程を行えているか調査 ・製品廃棄(不良・軽量・作り過ぎ)の低減 ・品質の良い野菜を購入 ・食品廃棄物の分別 ・返品削減 ・野菜の処理容器によるゴミ減量
電気使用量削減 <ul style="list-style-type: none"> ・マイエリア・マイマシン活動(消灯、機械停止、使用時間、清掃) ・機器の定期清掃 ・生産時間のピークカット ・月毎の電力使用量と原単位データの揭示 ・機器更新によるインバータ化 ・LED照明への切り替え(順次切り替え) ・BEMSの活用 	その他産業廃棄物の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・排水処理施設の管理徹底 ・各種備品の見直し ・期限切れによる廃棄ロスの低減 ・廃プラの排出量の削減 ・廃棄物の有価物への切り替え ・産業廃棄物の分別 ・再資源化の検討
ガス使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・月毎のガス使用量と原単位のデータの揭示 ・マイエリア・マイマシン活動(消灯、機械停止、使用時間、清掃) ・ボイラー・配管・蒸気の管理徹底 	グリーン購入の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入品候補選定 ・事務用品のグリーン購入継続 ・グリーン購入品目の拡大・推進
水使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・水量調整による水量削減 ・水漏れ箇所の点検・補修・低減活動 ・機器循環式タイプへの変更検討 ・月毎の水使用量と原単位のデータの揭示 ・水の適正使用時間の徹底 ・現場巡回時に確認 ・洗浄機の溜め水を清掃に使用 	環境改善活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘件数を削減 ・生産スケジュールの精度を上げる ・作業環境の改善 ・他工場の環境改善につながる活動を水平展開 ・コピー用紙の管理徹底
食品廃棄物のリサイクル率の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別を徹底し、再生利用率を上げる ・各部屋の従業員へ教育を実施 	地域貢献活動 <ul style="list-style-type: none"> ・地域への協賛活動 ・工場周辺や地域の清掃活動 ・エコキャップ活動 ・地域のニーズの調査

環境目標の実績

※2018年度の全社の
二酸化炭素排出量は
69908095kg-CO2/千pk
になります。

工場名	CO2排出量の削減 (kg-CO2/千pk)				電気使用量の削減 (kWh/千pk)			
	目標	実績	評価	削減率 (目標比)	目標	実績	評価	削減率 (目標比)
全社	117.7	115.2	◎	2.2%	133.5	130.5	◎	2.2%
相模原第一	113.0	110.2	◎	2.5%	108.9	116.6	×	-7.1%
相模原第二	286.8	238.4	◎	16.9%	290.3	229.8	◎	20.8%
龍ヶ崎	83.9	84.8	×	-1.0%	63.1	65.1	×	-3.2%
豊田第一	140.1	126.2	◎	10.0%	173.1	151.5	◎	12.5%
豊田第二	74.4	74.3	◎	0.1%	108.9	107.9	◎	0.9%
枚方	90.4	87.0	◎	3.8%	115.6	114.0	◎	1.4%
宝塚	95.9	89.8	◎	6.3%	123.4	115.5	◎	6.4%
新居浜	192.8	178.1	◎	7.9%	239.5	221.3	◎	7.6%
宗像	90.4	89.6	◎	0.8%	101.4	101.9	×	-0.5%
佐賀	90.2	93.8	×	-4.0%	106.4	111.0	×	-4.2%
宮崎	145.0	144.9	◎	0.1%	167.7	179.1	×	-6.8%

工場名	ガス使用量の削減 (L/千pk)				食品廃棄物排出量の削減 (kg/千pk)			
	目標	実績	評価	削減率 (目標比)	目標	実績	評価	削減率 (目標比)
全社	21.9	20.9	◎	4.3%	32.2	30.8	◎	4.2%
相模原第一	31.1	27.5	◎	11.7%	37.9	39.2	×	-3.4%
相模原第二	39.2	38.2	◎	2.4%	62.2	37.0	◎	39.8%
龍ヶ崎	27.4	27.4	×	0.0%	24.4	25.1	×	-2.6%
豊田第一	29.8	27.7	◎	6.9%	48.5	48.9	×	-1.0%
豊田第二	11.6	11.1	◎	4.5%	22.2	21.9	◎	1.6%
枚方	15.3	14.0	◎	8.9%	36.8	41.5	×	-12.9%
宝塚	16.3	15.3	◎	6.0%	32.4	33.6	×	-3.6%
新居浜	25.4	23.5	◎	7.6%	32.8	32.0	◎	2.3%
宗像	15.3	14.6	◎	4.3%	33.7	33.2	◎	1.5%
佐賀	15.3	15.3	×	-0.5%	15.2	16.7	×	-11.1%
宮崎	20.8	22.0	×	-6.1%	8.8	8.5	◎	2.8%

工場名	その他産廃排出量の削減 (kg/千pk)				排水量の削減 (m ³ /千pk)			
	目標	実績	評価	削減率 (目標比)	目標	実績	評価	削減率 (目標比)
全社	13.1	14.4	×	-9.9%	2.9	3.2	×	-13.1%
相模原第一	7.5	8.5	×	-13.6%	3.7	3.8	×	-3.1%
相模原第二	16.9	17.9	×	-6.2%	4.9	4.2	◎	15.0%
龍ヶ崎	8.4	9.0	×	-6.6%	2.5	2.5	×	-2.7%
豊田第一	12.4	13.8	×	-11.4%	4.8	4.6	◎	4.5%
豊田第二	17.2	18.1	×	-5.3%	1.4	1.4	◎	1.8%
枚方	17.2	16.7	◎	3.2%	3.3	3.3	◎	0.3%
宝塚	8.2	7.6	◎	6.7%	2.4	2.4	◎	1.5%
新居浜	9.9	13.8	×	-38.7%	2.8	3.2	×	-13.0%
宗像	18.3	17.7	◎	3.2%	2.2	2.1	◎	4.5%
佐賀	11.9	13.5	×	-13.1%	1.5	1.6	×	-7.8%
宮崎	27.4	28.0	×	-2.3%	3.5	3.5	×	-0.1%

環境目標の実績

工場名	食品リサイクル率の向上 (%)			
	目標	実績	評価	達成率 (目標比)
全社	85.0%	87.2%	◎	2.6%
相模原第一	85.0%	81.7%	×	-3.9%
相模原第二	63.5%	69.7%	◎	9.6%
龍ヶ崎	85.0%	82.9%	×	-2.4%
豊田第一	100.0%	100.0%	◎	0.0%
豊田第二	100.0%	99.8%	×	-0.2%
枚方	85.0%	100.0%	◎	17.6%
宝塚	100.0%	100.0%	◎	0.0%
新居浜	100.0%	100.0%	◎	0.0%
宗像	85.0%	67.2%	×	-21.0%
佐賀	85.0%	67.4%	×	-20.7%
宮崎	85.0%	100.0%	◎	17.6%

工場名	グリーン購入の推進		
	目標	実績	評価
全社	継続実施	継続実施	◎
相模原第一	1点追加	1点追加	◎
相模原第二	実績の把握	20点購入	◎
龍ヶ崎	年間1件以上	11件	◎
豊田第一	1点追加	1点	◎
豊田第二	1点以上拡大	10月に1点選定	◎
枚方	1点追加	24件/年	◎
宝塚	0件→1件追加	1点追加	◎
新居浜	1点追加	1点追加	◎
宗像	5件→7件	7点	◎
佐賀	10件以上	18点	◎
宮崎	年1点以上追加	4点拡大	◎

工場名	環境改善活動		
	目標	実績	評価
全社	継続実施	継続実施	◎
相模原第一	5件以上	6件	◎
相模原第二	1件/月	12件/年	◎
龍ヶ崎	2件/年	2件	◎
豊田第一	改善実施	12件	◎
豊田第二	8件以上	2017年度7件→2018年度8件	◎
枚方	1点追加	2017年度3件/月→2018年度12件/年	◎
宝塚	6件	6件	◎
新居浜	改善活動	1件	◎
宗像	2件	2件	◎
佐賀	10件以上	17件	◎
宮崎	実績把握	実績把握と取り組み品目選定	◎

工場名	社会貢献活動		
	目標	実績	評価
全社	継続実施	継続実施	◎
相模原第一	12件	12件	◎
相模原第二	1件/月	12件/年	◎
龍ヶ崎	4件	4回参加	◎
豊田第一	4件以上	12件	◎
豊田第二	4件以上	4件	◎
枚方	1点追加	16件/年	◎
宝塚	8件	8件	◎
新居浜	活動実施	10件	◎
宗像	3件	3件	◎
佐賀	5件以上	12件	◎
宮崎	3件以上	年間4件	◎

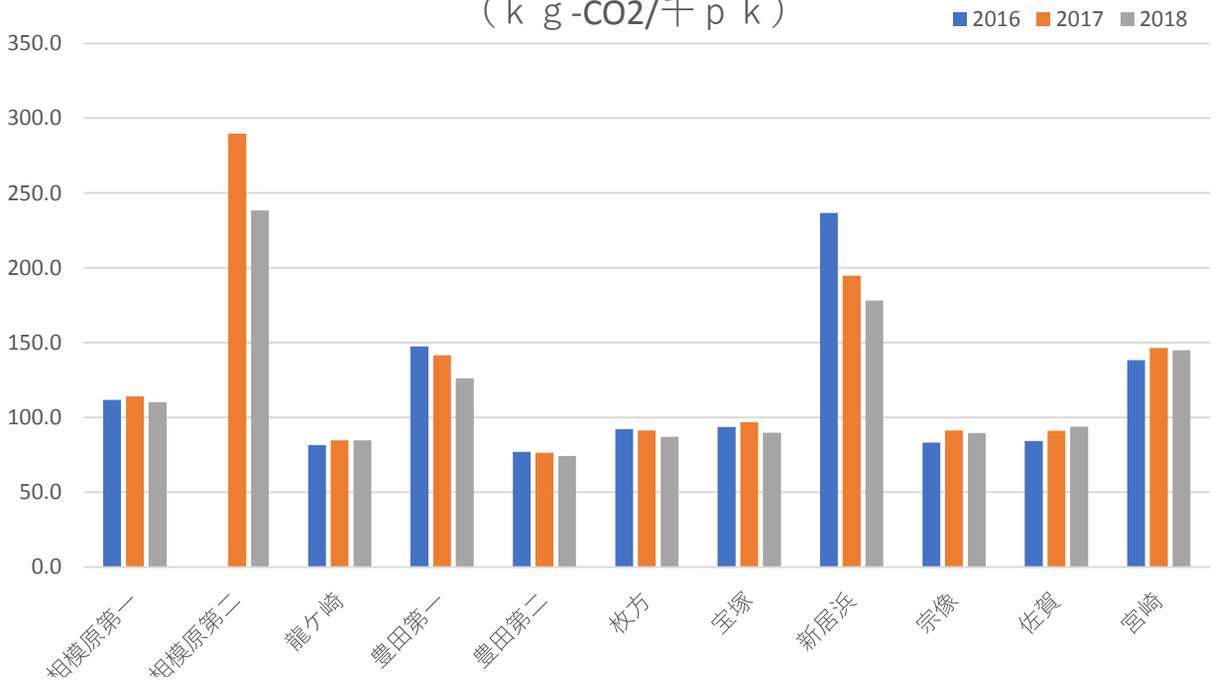
環境目標の実績

(※相模原第二工場は2017年6月より稼働のため、2017年度は運用期間から1年間換算で算出)

二酸化炭素排出量削減

二酸化炭素排出量原単位実績推移

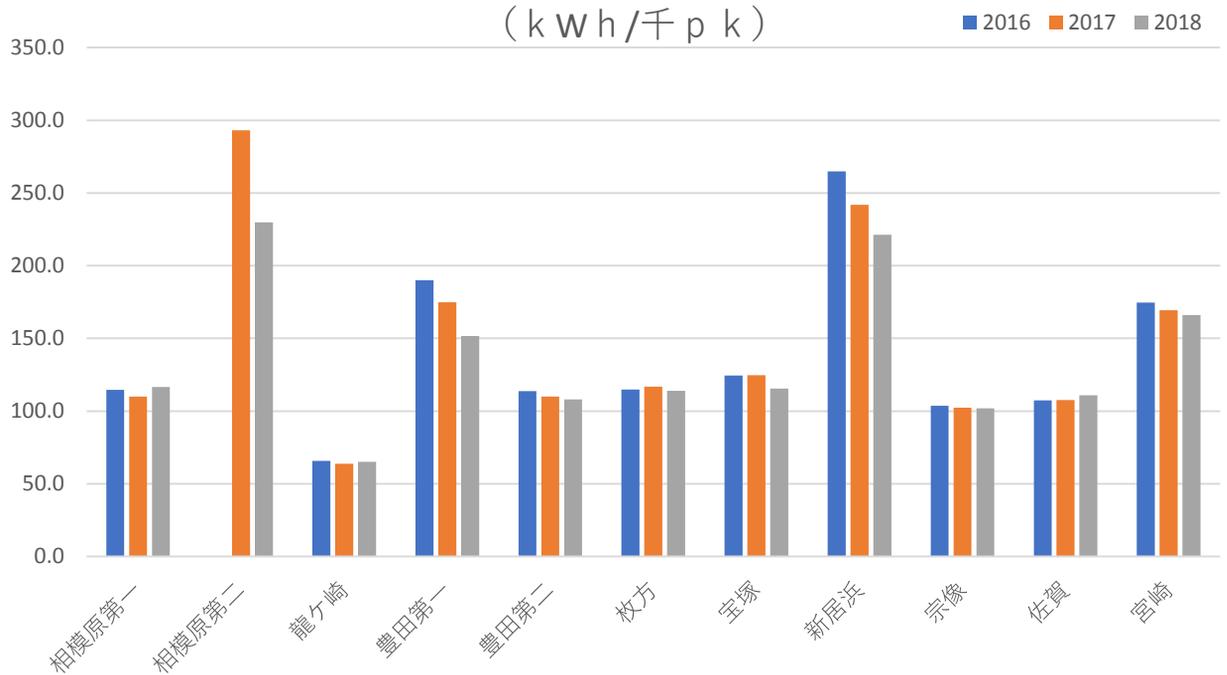
(kg-CO₂/千pk)



電気使用量削減

電力排出量原単位実績推移

(kWh/千pk)



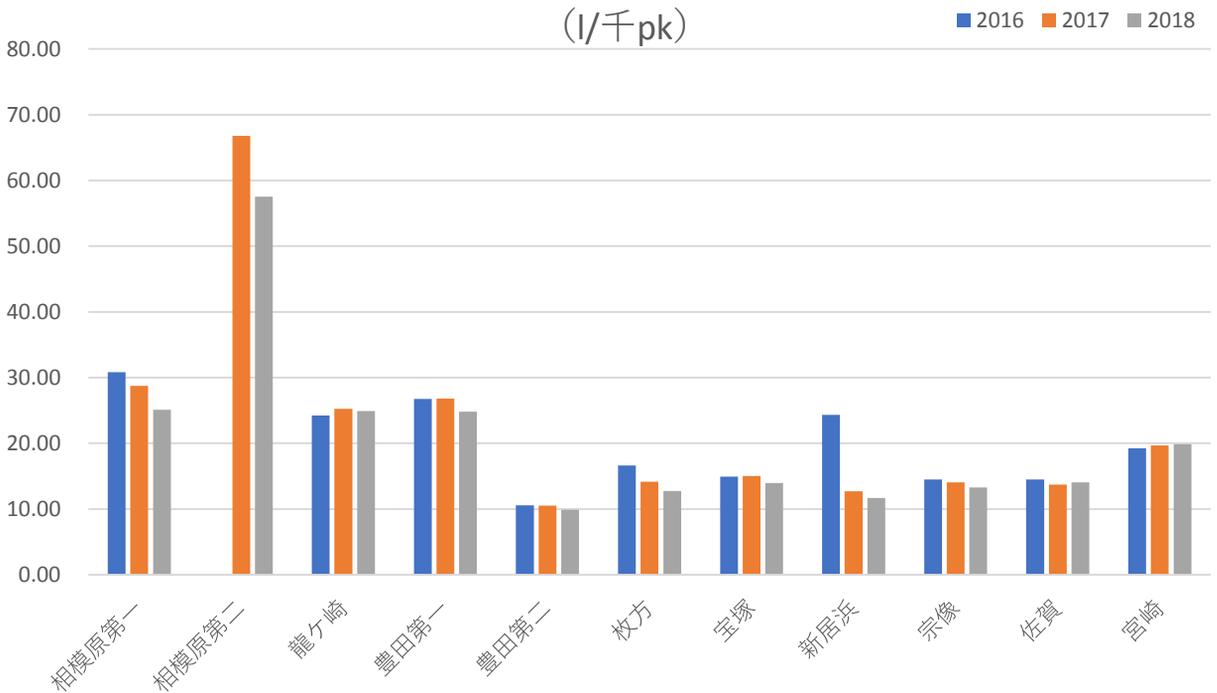
フライトデリカ

環境目標の実績

(※相模原第二工場は2017年6月より稼働のため、2017年度は運用期間から1年間換算で算出)

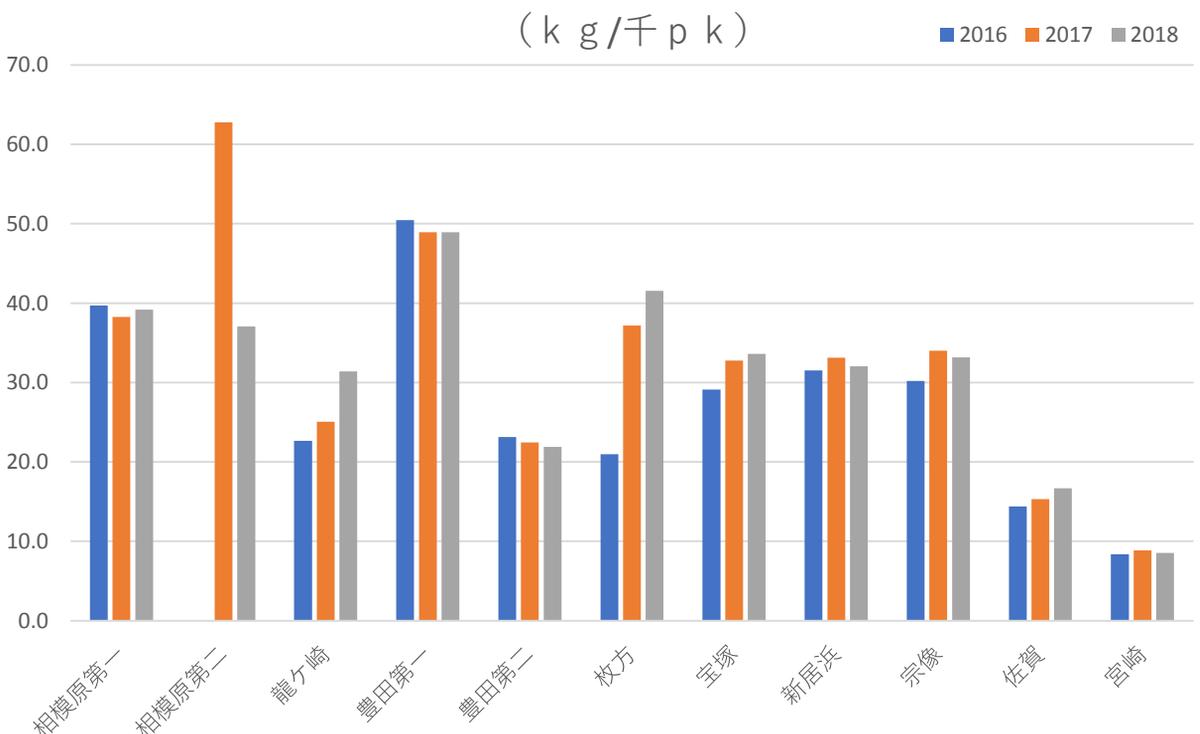
ガス使用量削減

ガス使用量原油換算原単位実績推移



食品廃棄物排出量削減

食品排出量原単位推移

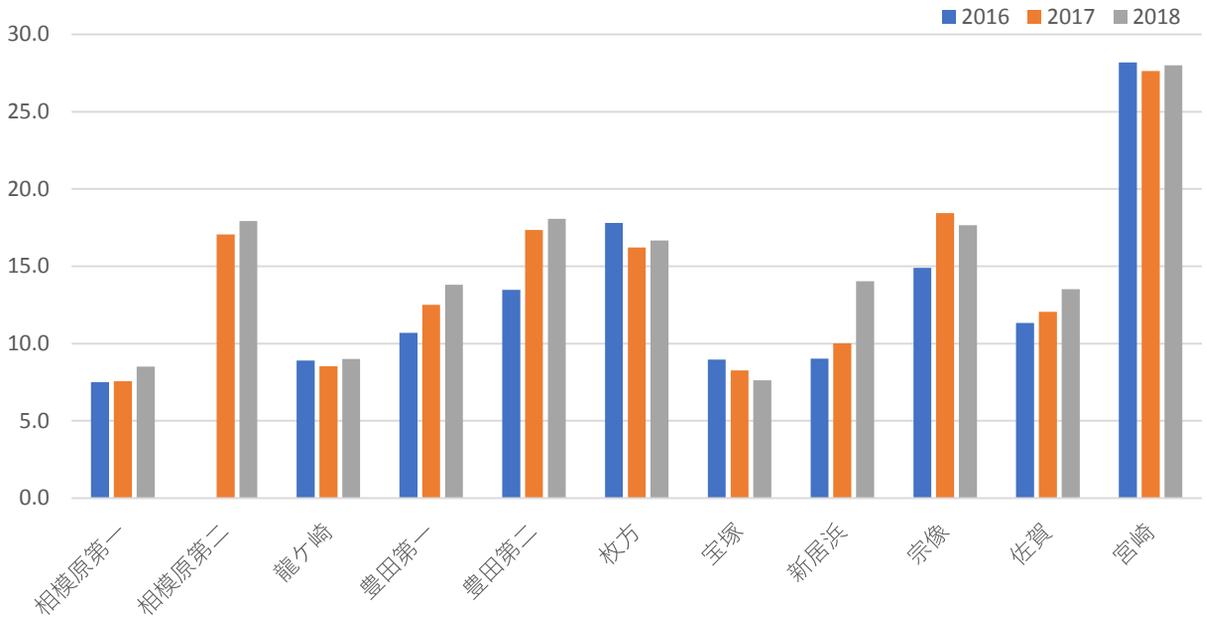


環境目標の実績

(※相模原第二工場は2017年6月より稼働のため、2017年度は運用期間から1年間換算で算出)

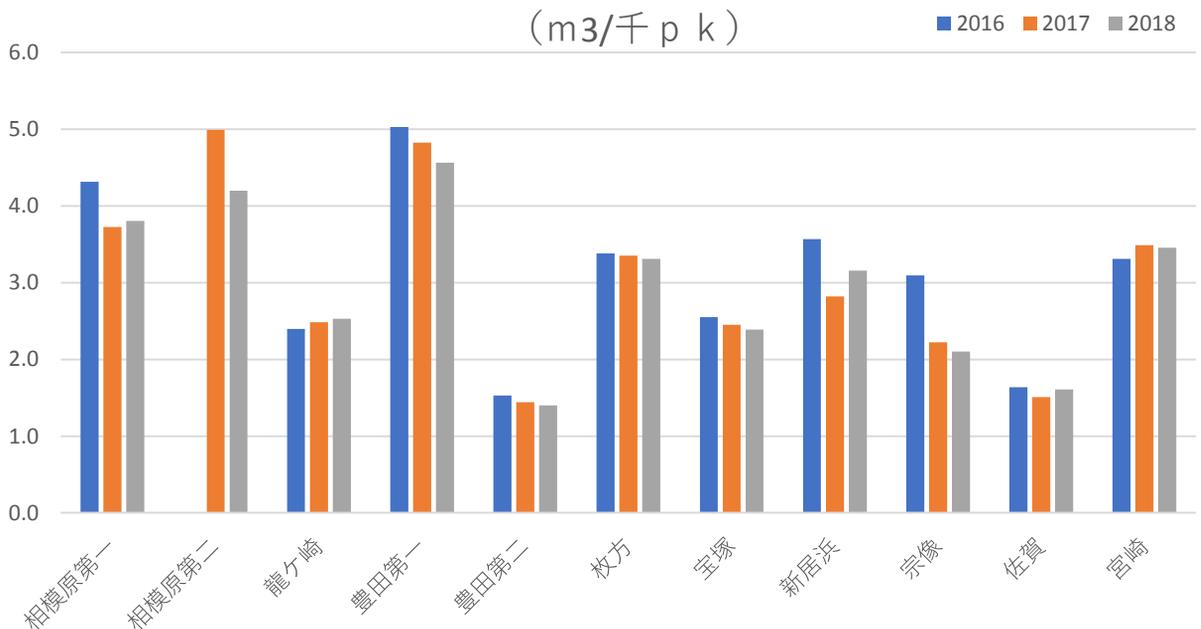
その他産業廃棄物排出量削減

その他産業廃棄物排出量原単位推移
(k g/千 p k)



水資源の削減

水排出量原単位推移
(m³/千 p k)



環境活動計画の取組結果とその評価、次年度取組み内容

(※環境行動計画達成した場合は◎、一部未達成の場合は△で評価)

相模原第一	CO2	電気	ガス	食品	その他産廃	リサイクル率	排水	グリーン購入	環境改善	地域貢献
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
<ul style="list-style-type: none"> ●コージェネ更新に伴い電気の購入との発電量を見直す。 ●作りすぎ・軽量品の削減、原材料のロス削減、返品率削減、製品返品・作り過ぎ・不良品への対策。 ●工程内の分別体制強化、過剰在庫・デッドストックの低減と処分方法是正。 										
相模原第二	CO2	電気	ガス	食品	その他産廃	リサイクル率	排水	グリーン購入	環境改善	地域貢献
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
<ul style="list-style-type: none"> ●不要な原材料の購入を抑制する。ロス削減により取り組むことで、排水量も抑制され汚泥の発生減にも繋がる。ロス削減の取り組みと連動させ、部課長ミーティングにて確認を行っていく。毎週の使い込み資料を基に役割分担をし、ロス削減を進める。 										
龍ヶ崎	CO2	電気	ガス	食品	その他産廃	リサイクル率	排水	グリーン購入	環境改善	地域貢献
	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
<ul style="list-style-type: none"> ●LED照明への変更、省エネ設備の導入、ウォーミングアップ時間の厳守。 ●見込み数量の精度向上、仕掛かり品在庫管理の精度向上、新商品の歩留り修正の管理向上、ライン不良品の手直しの徹底。 ●水使用量の多い箇所の使用状況の確認を行い適正な使用が行なわれているか現場での巡回を実施。 										
豊田第一	CO2	電気	ガス	食品	その他産廃	リサイクル率	排水	グリーン購入	環境改善	地域貢献
	◎	◎	◎	◎	△	◎	△	△	◎	◎
<ul style="list-style-type: none"> ●作りすぎ・軽量品の削減(製造担当)、原材料の仕入れ過多によるロス削減(仕入担当)。 ●産業廃棄物の分別の強化。また、分別出来る項目を検討し推進する。 										
豊田第二	CO2	電気	ガス	食品	その他産廃	リサイクル率	排水	グリーン購入	環境改善	地域貢献
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
<ul style="list-style-type: none"> ●基準の見直しを検討する。 ●2019年度のその他産業廃棄物排出量の原単位を月毎に確認し目標値が適正か確認していく。 										
枚方	CO2	電気	ガス	食品	その他産廃	リサイクル率	排水	グリーン購入	環境改善	地域貢献
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
<ul style="list-style-type: none"> ●原材料の取組や、見込み精度向上させ使い込みを削減していく。 ●ベトナム語の掲示物などを利用し、廃プラスチック類と不燃混合物、一般廃棄物の分別を徹底していく。 										
宝塚	CO2	電気	ガス	食品	その他産廃	リサイクル率	排水	グリーン購入	環境改善	地域貢献
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
<ul style="list-style-type: none"> ●エコボックスの破損したものを3台修理し運用。エコセンター行きの便の増車を検討中。 										
新居浜	CO2	電気	ガス	食品	その他産廃	リサイクル率	排水	グリーン購入	環境改善	地域貢献
	◎	◎	◎	◎	△	△	△	◎	◎	△
<ul style="list-style-type: none"> ●良品製造体制の強化により製品不良等のリパック削減。 ●鉄クズなど分別を強化し、有価物へ切り替え継続して実施。 ●高圧洗浄機、床洗浄機、スチームクリーナーの活用によりSNT使用量を削減する。 ●引き続き水漏れの即修理の徹底。 										
宗像	CO2	電気	ガス	食品	その他産廃	リサイクル率	排水	グリーン購入	環境改善	地域貢献
	◎	◎	◎	◎	△	△	△	◎	◎	◎
<ul style="list-style-type: none"> ●新しい冷水機の管理を使用状況を確認しながら管理を行う。 ●分別ができる様に呼びかけをしっかりと行う。 										
佐賀	CO2	電気	ガス	食品	その他産廃	リサイクル率	排水	グリーン購入	環境改善	地域貢献
	△	△	△	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎
<ul style="list-style-type: none"> ●従業員の意識向上、活動の活性化、廃棄の見える化と発生抑制をそれぞれで行う。 ●2019年度の月別実績値について、ミーティングで推移を確認し、効果検証を行う。 										
宮崎	CO2	電気	ガス	食品	その他産廃	リサイクル率	排水	グリーン購入	環境改善	地域貢献
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
<ul style="list-style-type: none"> ●推奨メニューや繁忙期・閑散期という部分は仕事柄避けられない。そういう中、安定的・継続的に取り組めるようにする必要がある。日々の朝礼で前日何をしたか等、発表する形を取ること意識を上げて行く。 										

環境関連法規の遵守状況の 確認及び評価の結果

(1) 主要な法令一覧

各工場で環境関連法規について順守状況の確認を行った結果、相模原第一工場と相模原第二工場の排水処理で市からの指導がありました。是正処置を実施して完了しており再発防止に努めています。また、食品リサイクル率において、全社では法令目標をクリアしていますが、工場別にみると相模原第一工場、相模原第二工場、宗像工場、佐賀工場においてクリアできていませんでした。全工場でのリサイクル率の向上を目指していきます。

法令の名称		相模原第一	相模原第二	龍ヶ崎	豊田第一	豊田第二	枚方	宝塚	新居浜	宗像	佐賀	宮崎
大気	大気汚染防止法	○	-	○	-	○	○	○	-	-	○	-
	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水質	水質汚濁防止法	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	下水道法	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-
	浄化槽法	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○
騒音	騒音規制法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
振動	振動規制法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃棄物・リサイクル	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	食品循環資源の再利用等の促進に関する法律(食品リサイクル法)	△	△	○	○	○	○	○	○	△	△	○
エネルギー	エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	消防法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	工業立地法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○: 順守、△: 対応中、-: 該当せず

(2) 条例

各工場が所在する地域は下記のとおりです。それぞれの地域で定められた環境保全や公害防止、地球温暖化、廃棄物関連等の環境関連条例も適切に順守しております。

事業所	県	市
本社・相模原第一工場・相模原第二工場	神奈川県	相模原市
龍ヶ崎工場	茨城県	龍ヶ崎市
豊田第一工場・豊田第二工場	愛知県	豊田市
枚方工場	大阪府	枚方市
宝塚工場	兵庫県	宝塚市
新居浜工場	愛媛県	新居浜市
宗像工場	福岡県	福津市
佐賀工場	佐賀県	佐賀市
宮崎工場	宮崎県	宮崎市

環境関連法規の遵守状況の 確認及び評価の結果

(3)再生利用等の実施率

食品リサイクル法に基づく定期報告書を事業者単位でまとめて報告しております。基準実施率100%に対し、2018年度の再生利用等の実施率は全社で87.2%でした。個別目標である基準実施率は達成できませんでしたが、業種別の目標である食品製造業85%は達成しました。

食品廃棄物発生量	19456.1 t
発生抑制量	1075.2 t
再生利用量	10614.5 t
熱回収量	0 t
減量量	6183.1 t
再生利用等以外の量	0 t
廃棄物としての処分量	2658.4 t
再生利用実施率	87.2 %

(4)産業廃棄物処分業者の現地確認

当社は廃棄物管理を廃棄物の専門家にコンサルしていただいております。工場から排出された食品廃棄物が適切にリサイクルされているかを確認するため、コンサルタントとともに廃棄物処理委託業者の現地確認を行い、食品廃棄物等が適正に処理されていることを確認しました。

(5)緊急事態の対応 試行と訓練

年1回の防災訓練を全工場で開催されていることを確認しました。

火事が起こった時の出火元の確認と館内放送による通報訓練、消火器や消火栓を使用する消火訓練、避難誘導をして屋外へ避難する避難訓練、を実施しました。

マニュアルに従い訓練を行った結果、マニュアルに問題なく更新の必要もありませんでした。

訓練と試行に参加できなかった従業員にもフォローを行っています。



代表者による 全体評価と見直し

①前回の指示への取組結果

相模原第二工場での認証取得し、全社のマネジメント体制を充実させるため

- ・相模原第二工場へのEA21導入支援した。
- ・全社環境会議の2回開催し、マネジメントマニュアルの作成及び教育。
- ・内部監査員養成研修を2回実施し、全社で42名内部監査員を養成した。

②今回の評価結果及び指示内容等

- ・2019年度も引き続き環境会議を年4回開催し、環境活動の活性化させること。
- ・プラスチックが及ぼす影響が世界で大きな地球環境問題となった。また、全国にも処理費用が高騰しているため、廃プラスチック排出量の低減させる取り組みを行うこと。

環境活動の取組事例

昨年度までの取り組み内容の継続に加え、今年度は工場内部の体制の強化を行うことで環境改善活動取り組みを行いました。

近年、外国人実習生や留学生の採用が増加しており、来年度は、外国人従業員による地域の方との清掃活動などを通して地域の活性化に貢献していきます。

エコセンターによるゴミ減容化



当社では、排出される動植物性残渣を業者に委託し堆肥化、飼料化、メタン発酵、焼却などすることで処理していますが、相模原エコセンター、東海エコセンター、関西エコセンターの3拠点で工場から排出される食品の野菜くずなどの植物性残渣を圧縮・脱水を行い、ゴミ減容化に努めています。

植物性残渣を脱水することで排出量を85～90%削減しております。野菜を多く使用する工場では1日に5t以上の植物性残渣が排出されるため、減容し排出量を減らすことで環境への影響を最小限にし、脱水処理した植物性残渣は堆肥化しております。

2018年度の実績は、相模原エコセンターで約1800トン、東海エコセンターで約1800トン、関西エコセンターで約1400トン減量することができ、年間で約5000トンのごみの重量を削減することができました。

ごみを減量化することで、ごみの焼却量を減らし、ごみを運搬する際の作業を効率化させ、運搬回数や人員を削減させることで、結果的に二酸化炭素排出量の削減を行っています。

この取り組みは環境に良い優秀な事例として神奈川県に選ばれ、神奈川県が主催する「廃棄物自主管理事業説明会」で、当社の発表する機会をいただいております。

牛久沼 白鳥餌やり



龍ヶ崎工場では、牛久沼水辺公園の白鳥に餌やりのために工場から出たレタス外葉芯くず、とパン耳を提供しており、龍ヶ崎市から委託された方が交替で毎日2回餌食を行っています。

地域協賛活動

地域に根付いた環境祭りやふれあい祭りなどに協賛しています。また、イベントにも積極的に参加を行いました。活動紹介やエコバッグの配布、クイズラリー、工作体験などを通じて、地域の人たちとふれあいも大雪にしています。



地域清掃と工場外周清掃



技能実習生の地域共生、地域貢献の一環として、技能実習生が生活する自治会行事である地域一斉清掃への参加しました。近隣の住民の方と一緒に公園周辺のゴミ拾い、草むしりを実施し、地域への貢献と、住民の方とのコミュニケーションの場となり、充実した活動となりました。近隣の方からも感謝のお言葉も頂きました。

また、技能実習生がゴミの扱い方を守れるように地域でのゴミ出しの方法や分別について「実習生ゴミ出しアドバイザー講習会」を行いました。

そして、定期的に工場の外周清掃を行っています。駐車場周辺などは、空き缶や飴やガムなどのお菓子の袋、たばこなども捨ててあることがあります。工場周辺も会社の一部と考えて、今後も定期的に清掃することで周辺美化に努めます。

廃プラスチック対策



世界中で廃プラスチックのごみ問題が取り上げられ、廃プラスチックが海洋投棄されマイクロプラスチックになり海洋生物の健康被害に関心が寄せられています。

そこで、当社では廃プラスチックの削減のために、食品残渣の付着した廃プラスチックをリサイクルするための前段階として、廃プラスチックを洗浄し、きれいにしてから排出することで、廃プラスチックの焼却量を削減できないか、機械の導入検証を進めています。

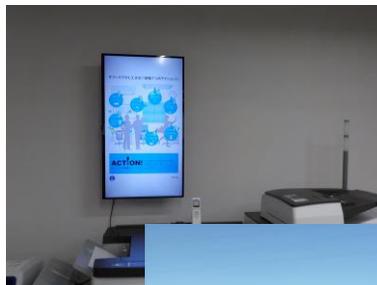
導入までには何回か検証が必要なため、まだまだ時間はかかりそうですが、少しずつ環境によくなる取り組みをこれからも続けていきます。

太陽光発電とデジタル掲示板

一部の工場で、太陽光発電を取り入れています。枯渇することのないクリーンエネルギーを取り入れることで環境保全に努めています。

また、掲示板をデジタル掲示板にすることで、紙資源の削減を行っています。

紙掲示板からデジタル掲示板にすることで、いろいろな情報を素早く配信することが可能になり、従業員の環境に対する意識の向上に努めます。



環境調査



「相模原の環境をよくする会」に参加し、相模川の環境調査を行いました。

水生生物の生息状況を見て、河川生物相を確認することで、きれいな所であるか水質判定できるそうです。

市民が自然と触れ合える場所の確認のために協力をしていきます。

勉強会や内部監査の実施



勉強会、カエル会(改善事例発表会)、内部監査を実施しています。

勉強会は、全社で環境に関するものを行っており、2018年度のテーマは、廃プラスチックを中心とした環境問題とSDGsについてです。

カエル会(改善事例発表会)では、年2回各工場の不具合点を改善し成果があったことの発表会で良かった箇所を各工場に水平展開しています。

内部監査は、2018年度より開始しました。コンサルの先生にも来て頂き、エコアクション21が取組んでいるかの確認を行っています。

環境掲示物の充実

環境に対する掲示を積極的に行っています。電気・ガス・水のエネルギー消費量を掲示したり、何分節電するとどれくらいのコストが削減されるかなど換算した値を記載した節電呼びかけポスターや機械の始業時の何分前に機械を動かすか設定し、無駄のなように設定時間になったら動かすような呼びかけ掲示を行っています。

外国人従業員のことも考え、日本語だけでなく他言語化した表示になるよう気を付け、今後も掲示を増やしていきたいと考えています。



エコキャップ運動



複数の工場で、ペットボトルの蓋を回収しています。回収されたペットボトルの蓋は、エコキャップ推進協会チャレンジフィールド 交易財団に回収してもらい、業者によってリサイクル資源として生まれ変わります。リサイクルによって発生したお金で世界の子供たちにワクチンを提供しています。